

**第33回運動会テーマ**

**勝っても負けても笑顔いっぱい運動会**

10月は運動会のシーズンです。1日は鹿ノ台中学校と佐保保育園でありました。8日は高山幼稚園、そして15日の鹿ノ台小学校、16日の佐保生駒幼稚園と続き、28日が地域ぐるみ運動会です。秋晴れの元での運動会を願っています。

残暑がゆるんだ先月下旬から運動会に向けて、種目練習や応援練習をしています。上級生は係活動や応援団で責任を果たすべく頑張っています。

また、今年の中学年・高学年の表現種目では東北への応援や未来への希望が入っています。日頃の練習で体をいっぱい動かして、食事と睡眠をしっかり摂って、たくましく成長してほしいものです。

**鹿小の子どもたちみんなに大きな声援をお願いします。**



左図のようなかわいい絵の入ったポスターが各自治会の掲示板に貼られていると思います。地域ぐるみの運動会が小学校で行われるのは、4年ぶりです。各自治会・子ども会や民生児童委員、各校園と育友会、剣心会・バンビーズ・ボーイスカウトといった団体の皆さんが思い出に残る運動会にしようと張り切っています。地域みんなそろっての参加をお願いします。

**どんぐりころころ里の秋**

朝校門に立っていると、子どもたちはいろんなものを持ってきて見せてくれます。暑いときは、トカゲ、ダンゴムシ、雨の日はカタツムリやアマガエル、秋になってカマキリ、バッタ、カミキリムシも。花や実もあります。

最近ドングリをもらいました。まず、いくつ持っているか当てることから始めて、ヒントをもらいながら6回目でやっと当ててからです。30個以上ある中で、「これはお気に入り」「これは〇〇ちゃんにあげる」と一つ一つ確かめながらやっと2個もらいました。その子の中では、すべてのドングリはみんな違う顔をしているのに驚きました。もらった2個をよく眺めるとほんと違いますね。ドングリの背比べと言うときはみんな同じイメージがありますが、みんな個性があるんですね。



**校内の風景**

秋はいろんな実や葉が色づきます。雨樋の横から枝を出して実をつけているのは、ムラサキシキブです。大きな株のハギとは対照的に庭の片隅で落ち着いた存在感をみせるイメージの実ですが、なんと、体育館の雨樋を通して地面から3mほど上の方で名の通り紫色の実を、とても誇らしげにつけていました。カラー写真は鹿小ホームページで見てください。校内では他に、ザクロやツバキが実をつけています。

**高山サイエンスタウンフェスティバル**  
 当日先着順が多いですが事前申し込みも今なら間に合います



11/5(土)の高山サイエンスタウンフェスティバルに生駒市PTAがわくわく☆サイエンス広場で参加します。プリントでお知らせしていますが、奈良先端大の親子で科学を楽しむオープンキャンパスや各研究所の展示等があります。最先端の科学技術を体験できますよ。同じ日に生駒国際音楽祭のファイナルコンサートが中央公民館サンホールで開催されます。去年は音楽祭の合間をぬって韓 伽倻 (ハン カヤ)さん始め数人の演奏家の方々が「世界は友達音楽塾」として鹿ノ台小に来てくださいました。今年は、ファイナルコンサートに生駒中学校とともに鹿ノ台中学校吹奏楽部も加わります。鹿中吹奏楽部はコンクールで金賞をねらう力をつけてきました。今年は1年生部員がたくさん入部して、練習にも熱が入っていることでしょう。

**<使わなくなった計算ブロック(低学年用算数教材)を譲ってください>**

鹿ノ台在住の方が、カンボジアの教育局に勤務するJICAシニア海外ボランティアからのご願いとして、計算ブロックを譲ってほしいと依頼されています。日本の計算ブロックを低学年の算数指導の有効な教材として、現在は教員1人が1セットで使用しているそうです。名前が書いてあったり、シールが貼ってあったり、数が揃ってなくてもかまわないとのことです。譲ってもいい計算ブロックが有りましたら、学校までお願いします。

**夏の制服、ポロシャツ併用について**

10月になって冬服に変わる時期になりましたが、夏の試行期間中ポロシャツは好評でよく見かけました。名札で痛まないように工夫したポロシャツも出回っているようです。今年度の試行をふまえて、育友会でのアンケートも参考にして来年度からのポロシャツについて決定する予定です。

**お知らせ**

学校事務の市事務担当の尾田さんの代わりに新開さんが赴任しました。教育実習生だった清水さんは、県のディアティーチャープログラムにより、週1回程度の実習を続けます。

**シーバ(芝生)ちゃんニュース**

芝生には、夏芝と冬芝があります。夏芝は秋になると枯れるので、10月に冬芝の種をまいて5月まで育てます。運動会は夏芝で行われますが、2週間後の地域ぐるみ運動会は育ち始めた冬芝になる予定です。夏芝も冬芝も、雨上がりで柔らかくなるときに踏まれると一番傷むので、両運動会が晴れ渡って乾いた芝生で練り広げられることを願っています。また、芝生の養生中は運動場の一般開放を禁止したり、スパイクは一年中使用を禁止しています。ご協力をお願いします。

**10月のめあて 本を読もう**

ここ何年か小説を読んだことがなかったのですが、息子の処分する文庫本の中にあつた、有川浩という女流作家の「レインツリーの国」という青春小説を読みました。映画「阪急電車 片道15分の奇跡」やテレビドラマ「フリーター、家を買う」の原作者であることは、後で知りましたが、この小説の中でも、若者がいろいろ悩み考えながら自分の未来を自分なりに切り開いていこうとするストーリーに共感しました。

読書の秋、読み聞かせするもよし、ベッドでおとぎ話を語るもよし、テレビではなく、一緒に読書タイムを楽しむのもよし。

**今月の言葉「おいしいお茶を一杯だけ」**

劇「夢・桃中軒牛右衛門の」の中に出てくる一節で、辛亥革命の父である孫文が日本での援助者である桃中軒牛右衛門こと宮崎稲天の妻に対していった言葉で、今も印象に残っています。「夢が叶ったら私の国においでください。何のおもてなしもできませんが、一杯だけ、おいしいお茶を一杯だけ、差し上げましょう。」

ただの一杯のお茶でも、かけがいのない一杯になる一瞬があれば幸せですね。



**全国金魚すくい選手権大会で優勝**

鹿ノ台学童の指導員、水倉さんが8月に大和郡山市の第17回全国金魚すくい選手権大会のグループ部門で優勝しました。3人で173匹すくい、予選を通過した289チームの頂点に立ちました。

5年前から出場し、今年は大会の常連の仲間とイベントで「よさこい金魚すくい」を踊ったとか(You Tubeで見ることができます)。ところで、近鉄郡山駅に近い紺屋町には、藍染め体験ができる箱本館や、年中金魚すくいのできるおみやげ屋さんもありますよ。